

2023(令和5)年度 ～ゆいまーる業務改善 in おきなわ～

医療法人祥杏会 おもろまちメディカルセンター

人材の有効活用による職場環境改善への取組



病床数 154 床 一病棟 94 床 療養病棟 60 床
看護職 183 名 看護師 133 名 保健師 1 名 介護職 49 名

《課題・背景》

- ◆人員不足に伴う常勤看護師の負担が大きい現状分析
 - 身体的精神的負担が大きく疲労困憊の状態
 - 育休明けの職員の配置に問題
 - 退職を希望するスタッフが増えている
 - 給与に対する不満



《目的・目標》

- 1 ライフスタイルに合った働き方の見直し離職率を下げる
- 2 求人方法の見直し
- 3 看護師の業務負担軽減の施策検討
- 4 給与を見直し職員満足度をあげる

《取組み内容》

- 1 育児休暇明けの職員の配置を外来や健診センターに固定するのではなく元の部署へ配置
 - 入院の受け入れ・処置係・学生指導などを担当してもらう
- 2 求人の見直し
 - 日勤希望者は外来へ配置していたが、病棟へも配置
 - 同時にパートや時短希望者も採用
- 3 看護師の業務負担軽減を図るためクラークアシスタントを配置し、事務的な業務をタスクシフトした。
また、身体介護を含まない看護補助業務を委譲
- 4 病院の経営状況について事務長より管理者会で説明してもらい、看護師長が職員へ説明し上層部に対しては看護部長が現場の状況や離職率の増加について説明した

《成果・効果》

- ① 育児休暇明けの看護師を病棟へ配置したことで即戦力となり常勤看護師の負担軽減に繋がった
- ② 求人方法を見直し、パートや時短希望者を病棟に配置、人材確保ができ離職率 17.0%→13.6%へ
- ③ クラークアシスタントを配置し、事務業務タスクシフトしたことで、患者とのコミュニケーションの時間が取れた
- ④ 離職率の増加や現状を上層部へ説明したことで、理解が得られ昇給に繋がった

ナースセンターから一言

- ◎現状の変化にいち早く気づき、解決に向けて対策を講じたことで、良い結果をもたらした事例ですね。
- ◎同様に悩んでいる管理者の皆さんも、ぜひ参考にしてください。



状況は常に変化することを認識し早期に対応することが重要

